

「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 28 年 6 月 8 日

仕事の内容	狭山公民館事業					
担当部署・課長名	中央公民館	課	狭山公民館	係	課長名	尾又 恵子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 生涯学習の充実

(総合計画書 35 ページ)

予算名	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	事業 3	狭山公民館事業
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらゆるもの(対象指標)			
	市民				湖畔、高木、狭山、清水地区に居住する市民の数(27年4月1日現在) → 公民館利用は地域制限はないが、近隣住民の人数とした。			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらゆるもの(成果指標)			
	地域で、学習の場に参加できる。				→ ①公民館主催事業参加者 ②公民館施設利用者(公民館主催事業参加者を除く) ③定期利用グループ数(27年4月1日現在)			
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)			
	①利用者連絡会等開催 ②講座開催 ③イベント開催 ④施設の貸出 ⑤狭山公民館だよりの発行				→ ①利用者連絡会等開催回数 ②講座開催回数 ③イベント開催回数 ④施設の利用率 ⑤狭山公民館だよりの発行回数			

		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値 人	15,610	15,610	15,475		
	成果指標	②の数値 ①人 ②人 ③グループ	① 1,885 ② 21,819 ③ 57	① 1,721 ② 19,924 ③ 56	① 1,343 ② 17,584 ③ 57		
	目 標	②の目標値 目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値 ①回 ②回 ③回 ④% ⑤回	① 16 ② 37 ③ 3 ④ 52.19 ⑤ 3	① 25 ② 37 ③ 3 ④ 47.67 ⑤ 3	① 20 ② 37 ③ 3 ④ 45.15 ⑤ 3		

3 経費	事業費		円	15,297,095	15,241,986	16,167,434	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	15,180,825	15,132,796	16,058,574	
		特定財源	円	116,270	109,190	108,860	
			(うち受益者負担)	円	116,270	109,190	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2	2	2	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	16,466,000	16,466,000	16,466,000		
事業費+人件費		円	31,763,095	31,707,986	32,633,434		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	昭和51年7月1日、市内3番目の公民館として開館。市民の生涯学習を目的としている。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	利用者の高齢化。 施設の貸出について、インターネット予約を平成27年10月から開始した。

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	施設予約について、平成27年10月にシステムを導入したことにより、インターネットに不慣れた高齢者からは操作に対する不安が多数寄せられた。また、平成28年4月からの抽選方式導入に伴い調整会議を廃止した。利用者同士が顔を合わせる機会がなくなり、コミュニティの低下を心配する声もあったが、これまで調整会議に参加することができなかった団体も予約抽選に参加できるようになり、公共施設の公平性が図られた。
-------------	--	--

仕 事 の 内 容	狭山公民館事業			
担当部署・課長名	中央公民館	課	狭山公民館	係 課長名 尾又 恵子

6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)			
	取り組んだ	取組手法	①②③⑤⑥⑦ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。				
日ごろから利用者とのコミュニケーションを図り、互いの信頼関係を築いていくことが、さらに適した協働の形態とするために大切である。				
7 課 題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。			
	公民館利用率は、年々減少傾向にある。特に狭山公民館は他館と比べ低い水準にある。これまで公民館を利用していた人たちの高齢化が進み、利用率減をまねいている状況である。さらにレジャーが多様化される中、公民館に活動の場を求める人が減ってきている。また、施設のバリアフリー化やW i f i の整備など時代に合った整備が求められたり、建物の老朽化対策も重要な課題となっている。			
8 今 後 の 方 向 性	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など)			
	利用率を維持するには、主催講座からの新たなグループ作りを目指しながらも、既存グループに対し会員を増やす取り組みを強化していくことが必要である。また、施設整備に関しては、計画的に予算要求して改善できるよう努力していく。予約システム導入に伴い調整会議が廃止になり、利用者同士が顔を合わせる機会がなくなったことから、利用連や公民館からの連絡事項等を伝える新しい方法を構築する必要がある。			
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。 調整会議の廃止により、公民館から各グループにまとまって伝達する方法がなくなり、グループ同士が顔を合わせる機会もなくなった。利用連と連携し代替案を考えていく。また、魅力ある事業を開催することで新たな公民館利用者を増やす方策を講じていく。なお、施設整備については日々の施設管理を適正に行い、必要な予算が確保ができるように予算の要求をすすめていく。			
(3) 改革・改善案による期待成果				
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を向上させる。		経費	仕事の経費を増加させる。